

巻 頭 言

第23回 群馬県作業療法学会の開催について

訪問看護ステーション花あかり

村井達彦



夏の暑い時期灼熱の候、群馬県士会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第23回群馬県作業療法学会の学会長を仰せつかり、10月31日(日)に群馬大学医学部保健学科において学術集会を開催する運びとなりました。

新型コロナウイルスの影響で世の中が急速に変わりゆく昨今ではありますが、昨年度に開催できなかった分も含め、よりいっそう満足度の高い学会にしたいと鋭意準備をすすめております。今回の学会では、学会テーマを「作業療法の進化と継続」としています。コロナ禍で混沌とした世の中において、作業療法士がこれからも必要な職種としてあり続けるために、どう進化していかないといけないのか？今、臨床に向き合いながら何を考え、どんな行動をとるべきなのか？我々の将来へ向けた前向きな希望を感じていただければ幸いです。学会プログラムについては、身体障害、内部障害、精神障害、発達、地域や訪問の各分野の著名な先生方を講師としてお招きしています。具体的には上肢機能のリハで有名な竹林崇先生をはじめ、pusher症候群や高次脳機能の研究で知られた順天堂大学の藤野雄次先生、内部障害分野では呼吸器・循環器障害の作業療法を検討する会と循環器臨床作業療法研究会のジョイントシンポジウムを予定しています。精神作業療法では精神障害のポジティブ作業について野口卓也先生にご講義を頂き、訪問分野では群馬県士会の勝野理事と小此木理事に講演をお願いしております。また特別シンポジウムとして全国各地のOTと「作業療法の多様性と進化」について講演・討論を予定しております。市民公開講座ではハートサンクス代表の八木橋健吾氏、衆議院議員の堀越啓仁氏にご講演いただき、私の学会長講演もおまけでついできます。これらの学会プログラムに加え、群馬県士会員による一般演題発表も行われます。非常に残念ではありますが、コロナ禍の密を避けるためにポスター発表は中止としました。今回はオンラインと現地でのハイブリット開催ですが、2年ぶりの全く新しい開催形式で行われる群馬県作業療法学会をぜひ楽しんでください！本学会に参加したことで、これからの皆さんの作業療法が明るく希望に満ちた作業療法に変わるよう、よりよい学会にしていきたいと思っております。今回は全国の有名講師が名を連ねておりますので、オンラインではアクセス制限がかかる可能性が高いと思われます。ワクチン接種が済んだ県士会員の方は是非とも現地参加をお勧めいたします。皆様、学会当日までお体に気を付けながらお過ごしください。学会当日にオンラインまたは現地で皆様にお会いできることを楽しみにしています！

特集記事!!



「交通事故の世界と作業療法士のしごとを考える」

(一社)交通事故被害者家族ネットワーク 岡村康子

1、交通事故の世界

突然ですが、想像してみてください。

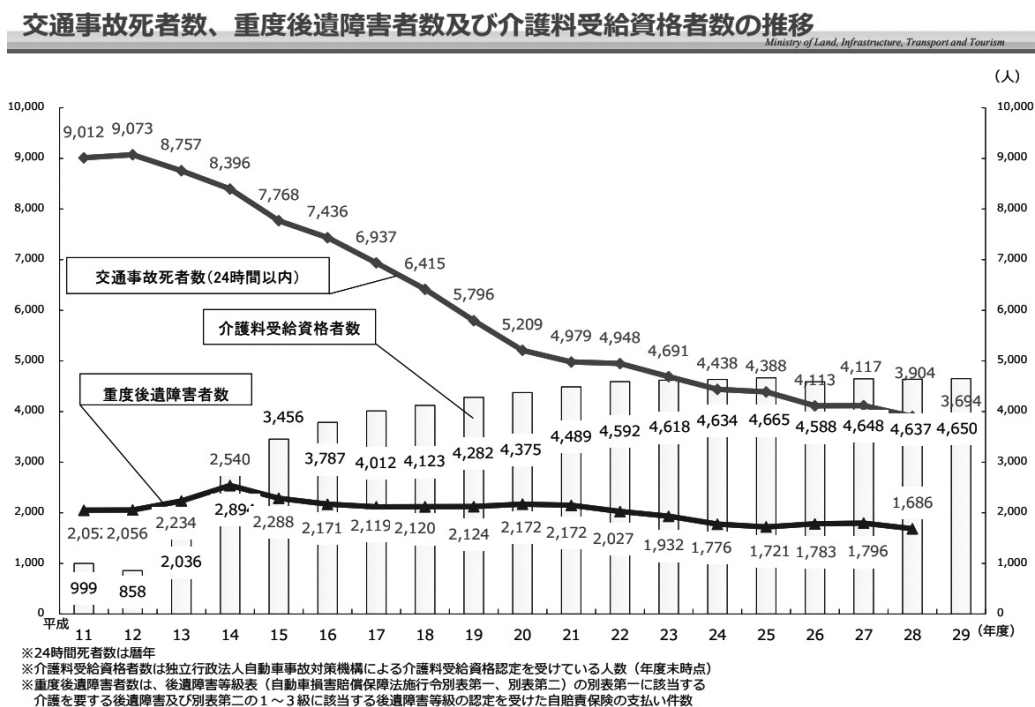
あなたは学生です。ある日、お父様(あるいはお母様)が朝の出勤途中で交通事故に遭いました。お父様が青信号で横断歩道を渡っていたら、信号無視の車にひかれたということです。家族は警察からの電話で急報を受け、あなたはお母様と一緒に病院へ駆けつけました。お父様は頭を強く打って意識が無く、これから手術に入ると医師から言われ、お母様は震える手で書類にサインしています。

…お父様は助かるのか?うちの家族はどうになってしまうのか?

交通事故被害者は、こんな風に突然、思いもよらぬ出来事に巻き込まれます。幸い、救命救急の発達や自動車安全性能の向上により、昔は助からなかった命もいまは助かるようになりました。しかしその分、後遺症を負う交通事故被害者の数が減ることはなく、現に「令和2年度自動車局関係予算概算要求概要」によれば、「交通事故死者数は減少しているが、重度後遺障害者数(約2千人)と介護料受給資格者数(約5千人)^{注1}は横ばい」という状況なのです。

これはつまり、交通事故被害者は後遺症を残すケースが多分にあり、損害賠償請求においては、後遺症により失った機能や介護費用について争いになることが多いともいえます。

(注1:独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA=通称ナスバ)では、自動車事故の発生防止及び、その被害者への支援の為に業務を行っています。支援業務の大きな柱の一つとして、自動車事故が原因で、脳、脊髄又は胸腹部臓器を損傷し、重度の後遺障害を持つため、移動、食事及び排泄など日常生活動作について常時又は随時の介護が必要な状態の方に介護料を支給しています。)



【国土交通省 自動車局「H30年度 今後の自動車損害賠償保障制度のあり方に係る懇談会」より抜粋

2、作業療法士の存在が大切です

さて、この様な交通事故被害者の世界に少し思いを馳せていただきましたが、作業療法士の皆様は、「自分はリハビリ担当だけど、事故の裁判と関係するのかな？」といった疑問が思い浮かんだのではないのでしょうか？
答えは、もちろん作業療法士の皆様のお仕事は被害者の生活にとっても影響を与えますし、それが助けにもなります。当然、主治医の見解はとても大切ですが、リハビリ室で患者さんと接し、検査や評価を踏まえてアドバイスを下さる作業療法士さんの存在は、非常に大切です。

例えば、患者さんに合わせた車椅子や装具を作る必要性の議論、家屋評価をもとに行われる住宅改修、不自由になった身体で日常動作を行う際の留意点、高次脳機能障害のどんな症状が残存していて社会復帰に向けてどんな配慮が必要か…等々、これらはすべて交通事故外傷による後遺症の影響を表すスケールです。

交通事故の解決は、裁判と示談交渉とに分かれますが、それなりの後遺症が残存する場合、裁判に限らず示談交渉においても、カルテ・看護記録・リハビリ記録等々すべての医事録が開示されることが多いです。皆様が日頃から行っておられるケアやアドバイスが的確に記録されることで、被害者の後遺症の程度や介護度が立証されるのです。

また、特に診断書作成において言えることですが、損害賠償では失った機能と、それによる日常生活の不便さを評価することになりますので、例えば記憶障害のある高次脳機能障害の患者さんの場合に、「仕事の場面では周囲が指示すれば作業ができる」という表現ではなく、「記憶障害のため一人では仕事の作業工程を覚えられず、周囲からの指示や工程を書いたメモが必要である」という表現が好ましいです。当然、神経心理学的検査はスクリーニング的に行うMMSEやWAIS-III 成人知能検査だけにとどまらず、ウェクスラー記憶検査(WMS-R)、日本版リバーミード行動記憶検査(RBMT)が必要です。

3、被害者の声を聞く

話は元に戻りますが、冒頭、あなたの大切な家族が交通事故被害にあったら？という仮定の話をしました。

いかがでしょうか？一家の大黒柱であるお父様が寝たきり、あるいは復職できない恐れがあります。お母様をはじめ家族は、後遺症が残ったお父様を支えなければなりません。一体どうしたら、安心した暮らしが出来るようになるのでしょうか？ましてや、お父様は青信号で横断歩道を渡っていたのに、信号無視の車にひかれたのです。

こうして被害者の立場で想像してみると、被害者が治療やリハビリに専念すると同時に、損害回復のためにしっかりと賠償請求したいと考えるのは当然のことと思えるのではないのでしょうか？被害者は、病院のこと、警察や検察庁からの呼び出し、勤務先会社とのやり取り、労災手続き、加害者側損保への対応等々…大切な家族の治療やリハビリに専念したいのに、悔しさ、悲しさ、怒りといった様々な感情を抱えながら、あらゆる手続きを迫られます。この様に心身とも追い込まれた状態で、日常では感じたことの無いあらゆる感情を心に抱え、怪我した家族を看病しているのです。

病院で見かける被害者家族が「何も不安を口にしないから大丈夫」なのではなく、誰もが様変わりした環境に戸惑いながら、苦しさを中心に秘めて、必死に過ごしているのです。重症度が高い被害者ほど、孤独です。私ども交通事故被害者家族ネットワーク(以下「家族ネット」)の無料相談電話には、被害者家族が勇気を出して電話をしてこられます。最初の電話で泣きじゃくる家族も多くいらっしゃいます。被害者家族との面談時には、ずっと心の中にしまい込んできた辛さや不安を吐露されます。とても大切な時間です。

作業療法士の皆様には、被害者と接する時間の中で、「大丈夫？」と一言声をかけていただけたらと思います。そして、交通事故にかかわる情報提供や、当事者同士のわち合い等が必要と思われる方には、どうぞ当会をご紹介ください。

4、交通事故被害者家族ネットワークの活動

当会は2011年に設立し、会員の皆様のご理解とご支援をいただきながら被害者支援活動を継続することができました。当会に寄せられる相談内容としては、死亡事故、遷延性意識障害や重度脊髄損傷、高次脳機能障害といったものが多く、専門家の先生方や各地の被害者団体様のご協力を賜りながら以下のような活動を行っています。相談は無料で対応し、当会の活動にご賛同いただいた被害者家族に入会案内をさせていただくとともに、関係機関様からの助成をいただき活動しています。

～活動内容～

- (1) 自賠責、労災、障害者年金、後見人制度など申請案内
- (2) 施設や在宅介護の準備、社会復帰に向けたサポート
- (3) 支援者向け無料講習会
- (4) 被害者家族の交流会
- (5) 会報「サポーター通信」の発刊
- (6) 交通事故関連情報をメーリングで随時配信

作業療法士の皆様が交通事故受傷による患者さんを担当する機会は、限られた施設に勤務している場合だけであると思います。しかし、その様な患者さんを担当された場合には、ぜひこの記事の事を思い出していただければ幸いです。

当会の活動も、2020年からはコロナ禍において講習会や面談にはWEBを活用し、2021年度は随時配信ではありますがメーリング配信を新たに開始することにいたしました。ご関心のある方は以下のQRコードからご自身のメールアドレスをご登録ください。

関係機関の皆様と支援のネットワークを広げ、一人でも多くの被害者に必要な情報が届けられるようご協力いただければ幸いです。

【支援者様用 メーリング配信のご案内】



<http://www.jiko-kazoku.com/info/form1.html>

PT・OT・STのための総合オンラインセミナー

リハノメ

臨床・研究・マネジメント 全てのヒントがここにある
—— 毎月20本以上、年間250本以上配信予定!! ——

リハノメ5つのポイント

- 1 どこでも学べる
- 2 充実のコンテンツ
- 3 豪華講師陣
- 4 定額見放題
- 5 配信スケジュール公開

いつでも
何処でも
何度でも

オフライン 再生可能!

アプリからのダウンロードで、
通信不要で視聴可能に!

リハノメは法人向けプランも ご用意しております。

こんなお悩みを持つ法人様に

- 臨床だけでなく社会人の基本も身に付けてほしい
- 繰り返しセミナーを聴いて記憶を定着させたい
- 1日のセミナーに全職員の参加は難しい
- 新人向け研修は準備が大変
- 研修を充実させたいが、管理する時間がない
- 勉強会には参加してほしいが、交通費がネック

法人契約なら以下の管理機能が使えます。



どの職員が



どの動画を



何分視聴したか

管理者様は全て把握いただけます。

リハビリテーションを『かたち』にする会社

gene

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-26-12 IKKO新栄ビル6階

ZOOMでのご相談も随時受付中!お気軽にお問い合わせください

 seminar@gene-llc.jp

 052-325-6611

リハノメ 検索



上牧温泉病院

当院は群馬県の「最北」の町。みなかみ町にあります。病院の北側には谷川岳、東側に利根川が流れ、周りには多くの木々に囲まれていて、四季折々の風景を楽しむことができます。

診療科目は整形外科・内科・リハビリテーション科です。

病床数は一般病床10床、療養病床36床、地域包括ケア病床30床の計76床です。グループに2つの介護老人保健施設があります。当院では週に1度、手術を行っており、昨年度の手術件数は221件。そのうち、人工関節の手術は85%を占めています。当院は群馬県内の患者様はもちろん、東京都など県外からの患者様もいらっしゃいます。



当院リハビリテーション部は「ここに暮らす人々が個人として集団として健やかに笑顔で生活できるよう地域の方々と共に支え合っていく」を理念とし、OT2名、PT24名、ST1名、鍼灸マッサージ師1名、事務1名の計29名で働いています。

当院の作業療法は、整形疾患・中枢疾患への作業療法を提供させていただいています。整形疾患では主に頸部から上肢・手指などの整形疾患と中枢疾患では脳梗塞などの疾患の患者様へのリハビリを実施しています。また、高齢の患者様が多いことから障害予防も意識したリハビリの提供を心掛けています。

院外活動では、長年、みなかみ町と協働し、介護予防事業に取り組んでいます。また「地域個別会議」にも参加しています。昨年度からは「フレイル予防教室」を町の委託事業として開始し、対象者への講話やワークなどを実施し、地域の方々との交流を行っています。「地域ケア個別会議」では、専門職として事例に対して助言をさせていただいています。様々な活動に参加させていただき、新たな知識を身につけることができ、いい機会を得ています。その他に年に1度リハビリ学生向けの「インターンシップ」を実施し、学生との交流機会も大切にしています。

最近の取り組みとして、YouTube(群馬最北ch)を活用し退院後、自宅などでリハビリを継続できるように動画を載せ、沢山の方に見ていただけるように情報発信しています。また、リハビリ学生へ向けて施設紹介も掲載しております。もしお時間がありましたらご覧になってみてください。

コロナ禍で大変な日々が続いていますが、今後も笑顔を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

花あかりで働く理学療法士 ・作業療法士を大募集!!

訪問看護ステーション花あかりでは、看護と連携しながらより効果的なリハビリを追求し、生活に必要なリハビリ支援や保険外のサービスまで、自宅や介護施設に生活しながらも、より本人らしい質の高い生活のためにあらゆる支援を行っています。対象疾患は脳血管障害(急性期～維持期)、整形疾患(上肢、脊髄、下肢)、内部障害(呼吸循環、腎臓リハ)、神経難病、がん終末期、認知症、精神疾患など幅広く対応しています。また地域における体操教室や勉強会など、行政や地域包括支援センターと連携しながら各種セミナーなども開催しています。

花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です! 経験年数の浅い方も大歓迎! バイタルサインの理解と急性期～慢性期までのリスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメントまですべてお伝えします!

- ◎募 集 理学療法士、作業療法士
- ◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)
- ◎勤務時間 8:30～17:30、週休2日、年末年始
- ◎給 与 年俸360～430万円(経験加算あり、各種手当別途、各種認定資格保持者・急性期経験者優遇します)



〒376-0121
群馬県桐生市新里町新川715-11
ファミリアイマイE号室
TEL:0277-51-3124
採用担当:村井まで



理学療法士・作業療法士 有資格者募集

業務内容:通所リハビリと入所でのリハビリ業務

勤務時間:月～金 9:00～18:00(休憩75分)

土曜 9:00～13:00(一日勤務あり)

給 与:経験等考慮の上法人規定に準ずる

待 遇:各種保険、退職金、賞与年2回(4.5ヶ月)

休 暇:日祝、有給休暇、夏季休暇、年末年始

創立記念日、産休育休、介護休暇

応募方法:まずは電話にてお問合せ下さい 担当:岡田、岩田

医療法人三省会 介護老人保健施設 希望の苑

〒373-0829 群馬県太田市高林北町1138

TEL. 0276-38-1912

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した…などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: koha.yuu@yahoo.ne.jp

広報部・ニュース編集グループ

反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

今年も気が付くと下半期に突入し、時間の速さを感じる。会員の皆さまにおかれましてはどのような上半期をお過ごしになっただろうか? またどんな下半期にしたいだろうか? 特に新人OTの方々はあっという間の半年だったのではないだろうか? 今号では今年度の群馬県作業療法学会の学会長である村井先生に巻頭言を執筆頂いた。コロナ禍で今まで通りの学会ができなくなった反面で、参加のしやすさや新しい開催の仕方などニューノーマルな発見もあるかと思う。ぜひたくさんの方の参加をお願いしたい。

S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社